

## 栄村復興支援に向けた「信州の木認証合板」確保のための取組みについて

信州の木振興課 県産材利用推進室、森林づくり推進課

長野県北部地震の被災地である栄村では、東日本大震災の影響もあり、復興に向けた住宅等の建設を迅速かつ着実に進めるための合板の確保が不透明な状況にありました。

このため、県は大岡県有林から率先して原木を供給し、森林・林業関係 7 者が相互に連携・協力しながら、栄村の早期復興に必要な合板を確実に確保するための覚書を取り交わし、5月16日(月)には第一便として1千枚の合板を栄村森林組合に納入できました。

### 1 取組みの概要（役割分担）

- (1) 長野県（大岡県有林から原木供給、生産から製品納入に至る工程相互調整）
  - (2) 長野県森林組合連合会（原木納入）
  - (3) 長野県木材協同組合連合会（原木納入・販売協力）
  - (4) 信州木材認証製品センター（産地、品質・規格の検査・証明）
  - (5) 林ベニヤ産業株式会社（石川県七尾市）（長野県産認証合板の生産・出荷）
  - (6) 栄村森林組合（合板の買取、保管及び村内配達）
  - (7) 栄村（合板の活用先についての情報提供）
- 以上 7者



栄村森組に納入された合板

### 2 県有林からの原木供給

栄村の住宅建設等に必要ながん県産認証合板を緊急に確保するため、県有林の伐採・搬出を行い、原木を供給しました。

- (1) 場所 大岡県有林（長野市）
- (2) 樹種等 カラマツ（伐採面積 3.1ha、材積 663m<sup>3</sup>）



伐採



運搬

### 3 合板の納材状況

これまで栄村森林組合に、7回に分けて7,000枚が納入されました。（9月26日現在）。

また今後は、10月から11月にかけて3,000枚が納入される予定となっています。